

### R 3 全国選抜予選申し合わせ事項（感染症対策等）改訂版

#### 1 会場への入場について ※重要 完全無観客（観戦可→1・2年部員のみ）

8：30 《引率・役員（審判含む）》※**武道場側出入口前**に集合し入場（専門委員の指示）※受付で提出 参加費 健康チェックシート 掲示用個票（B5）

《選手》**多目的アリーナ2F出入口を使用**（開場後は、寒さ対策のためあまり待たせず、来た順に整列させ学校ごとに順次入場させます。）

◎入場後は**多目的アリーナ観客席（武道場側通路上の観客席）**に荷物を置き、出入口側の階段を使用して武道場へ移動する。下足は、学校ごとにまとめて道場側出入口のスペースに学校ごとに置くこと。2F観客席との往来は素足厳禁。※縦横1m間隔で各学校ごとに整列する（マスクの着用の徹底）

※健康チェックシートの確認（更衣は済ませておく）

※体調不良者入場不可（体温が37.5度以上の者や風邪症状の者）

◎体温が37.5℃以上の生徒は、複数の体温計で確認し発熱が間違いない場合は、顧問がただちに保護者に連絡を取り医療機関に受診させるなどの対応をとる。同一校で複数の発熱者や体調不良者がいた場合は、剣道連盟と専門委員で協議し、大会への参加を認めない場合もある。

※非接触型体温計は専門部でも準備します。必ず、入場前に顧問が検温と手指消毒を行ってください。（消毒液は各学校で準備すること）

※入場後、観戦する部員は、武道場内観客席で待機（マスク着用 無言）

※場内では移動時に防具袋やクーラーボックスのキャスターは使用禁止。下足入れやクーラーボックスを配置する場合は、各学校ごとにソーシャルディスタンスをとり、通行の妨げにならぬようすること。引率教員はそれらについて自チームの指導を徹底すること。

8：40 **竹刀検量（出場選手1人につき3本以内）**

8：50 入場完了後諸注意 練習開始

専門委員会議

9：00 補助員集合（本部前にて準備、事前指導）

9：20 審判監督会議（会議室1・2）

※終了後、1試合目の学校は、専門委員の指示でオーダー票提出

9：50 練習終了

9：55 選手整列（専門部の指示に従う）

10：00 開会式

#### 2 選手・役員の動線について

会場内通路は、左側1列通行を徹底し、移動時はマスク着用・無言を徹底する。

3 消毒液の配置・個数について

アルコール消毒液を各道場出入口・トイレ・自販機前に配置 ※定期的に点検

4 完全無観客 観戦可→1・2年生部員のみ

大会関係者や学校関係者の入場は、会場に設置した外部受付にて、検温と健康チェックを行い、本県および所在する県の方針に沿って許可する。

※関係者以外の入場は一切認めない。

※県教委や各学校の管理職や職員も同様の対応です。（事務局でID作成）

5 会場の換気について

スポーツ庁や会場の方針に沿って、一部の窓を常時開放することで対応する。（施設職員と専門部で適宜対応する。）

6 本大会の特別ルール（感染症対策）について

○全日本剣道連盟の指針に沿って行う。

開閉会式 感染状況によっては簡略化。十分な間隔を取って整列し無言（マスク着用）

選手宣誓は、マスクを着用し十分な間隔を取って行う

閉会式は入賞チームのみ事務局の指示で整列して行う。その他のチームで会場に残っている場合には、別途指示をする。

礼 法 試合場への入退場時はマスクを着用、団体の礼もマスクを着用、整列時も控えでも横の選手と1mは間隔を取る（選手控えでもマスクは着用する）

監督は、常時マスクを着用

試 合 「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」を適用して実施する。

面の着用時は、飛沫防止の用具（面マスクおよびマウスシールド）を必ず着用すること。その際、鼻がマスクから出ないように留意し、監督はそれらを確認すること。

7 その他

○部員の用具（剣道の用具・おしぼりや飲料も含む全て）の貸し借りや共有は厳禁。

○大会期間中は、更衣室は一切使用しない。（試合終了後も更衣はできません。ただし、公共交通機関を利用する学校については更衣を認めるので本部に申し出ること。）

○会議室・師範室を使用する場合も3密回避を徹底する。（人数による使用制限）

○必ず審判旗は、終日同じものを使用する。

○生徒の昼食は、多目的アリーナ武道場側の観客席（通路より上部）もしくは会場外で行う。その際、黙食を徹底すること。同じ方向を向き、話をせずに短時間で済ませるようお願いいたします。（ゴミはすべて必ず持ち帰ること）

○竹刀検量については、顧問が事前の点検を徹底する。（1人3本以内）

○礼法や所作、着装についても、部顧問での確認と指導の徹底をお願いいたします。